

放課後等ディサービス 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス浜松教室

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	1.利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	教室の机や椅子は、参加人数に合わせて配置しています。	
	2	2.利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	シフト表を作成し、基準人員を満たす体制を維持しています。	
	3	3.生活空間はこどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	100.0%	0.0%	0.0%	活動スケジュールを掲示で、その日の活動が理解できるようにしています。児童が立ち入ってはいけないエリアを明確にするため、ラインテープを床に設置しています。これにより、視覚的に境界を分かりやすくしています。	
	4	4.生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎日清掃を行い、机、椅子、ドアノブなど手を触れる部分はアルコール消毒も実施しています。また、活発な動きが予想される場合はスペースを確保しながら、衝突などの事故防止に努めています。	子どもたちがリラックスやクールダウンできるような、休息スペースを充実させたい。
	5	5.必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	0.0%	0.0%	学習に集中できるよう、個別スペースを設けたり、必要に応じてパーテーションを設置するなど、視線を遮る工夫をしています。	集団活動のスペースが主のため、一人で落ち着ける個別の場所の確保が不十分である。個別のスペースを充実させたい。
業務改善	6	6.業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100.0%	0.0%	0.0%	業務改善のために、職員から意見を聴取しました。	
	7	7.保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	年に1回、保護者向けアンケートを実施し、集計結果や改善案を公表しています。	
	8	8.職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	ミーティング時に意見交換の場を設け、職員が感じている不便さや課題を共有し、対応方法を話し合っています。	日々のコミュニケーションや会議の際に断片的に意見を聞くだけでなく、組織的な収集・集計も行ってきたい。
	9	9.第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0.0%	66.7%	33.3%	第三者評価は未実施ですが、厚生労働省のガイドラインに沿った「自己評価表」を毎年作成し、その結果を事業所内およびホームページで公開しています。また、ハッピーテラス本部の職員による定期的な訪問指導を受け、コンプライアンスの遵守や職員の支援の向上に努めています。	
	10	10.職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	66.7%	0.0%	33.3%	職員の専門性の向上やコンプライアンスの観点から、定期的に研修の機会を確保しています。	オンラインでの参加が中心で、現地で受講できる研修の参加が難しいです。また、非常勤職員は勤務時間の都合により研修への参加が難しく、現状は研修内容の伝達に留まっています。
適切な支援の提供	11	11.適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	支援プログラムをガイドラインに基づき策定し、ホームページで公表しています。	利用者への周知を強化する必要があります。
	12	12.個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	66.7%	0.0%	33.3%	ハッピーテラス独自のアセスメントシートを活用しながら聞き取りを行っています。	面談者の主観が伴うため、できるかぎり標準化されたアセスメントツールを活用していきたい。
	13	13.放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	作成した計画の原案の回覧を行い意見を求めることで、子どもの目標達成に向けた共通理解を図っています。	
	14	14.放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	個別支援計画は、関係職員全員で共有し、共通理解を深めるように努めています。	支援内容のズレが生じないように、具体的な声かけや関わり方を丁寧に共有していきたい。
	15	15.こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	日々のトレーニングや余暇時間の児童の様子から、得意なことや支援が必要なることを確認しながら支援計画に反映できるようにしています。	日々の行動観察による状況把握は行えているが、標準化されたツールの活用が一部にとどまっている。
	16	16.放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	本人支援の内容が、放課後デイの「領域」をすべてカバーするように工夫しています。	
	17	17.活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	複数の職員で意見を出し合うことで、子どもの特性や興味に対応できるようにします。	個別のニーズにも対応したプログラムを立案していきたい。
	18	18.活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	年間を通じて、週ごとにトレーニングテーマを変えてプログラムを実施しています。また、子どもたちの興味や関心を惹きつけるために、創作活動や身体活動も取り入れながら、週に複数回利用のある児童も飽きないようにしています。さらに、季節を感じられるプログラムや体験を伴う外出活動も取り入れながら、社会性の向上を図っています。	幅広い年齢の児童の個性や発達段階に合わせたプログラムの提供に改善の余地があります。
	19	19.こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	集団の活動を基本としているが、プリントの教材は個々の特性に合わせて、アレンジしています。	

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス浜松教室

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	20	20. 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎回、必ず職員間で打ち合わせの時間を設けています。その日の活動内容、児童の支援で注意したい点や体調を共有し、個々の職員の役割を明確にしてから支援に臨んでいます。	
	21	21. 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	その日の児童の様子やや効果的だった支援方法などを振り返り、今後の支援に活かせるようにしています。	振り返りの時間を十分に確保できないことがあります。
	22	22. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	個別支援計画に基づき、児童のその日の様子を記録しています。パソコンに入力することで、関係者間で共有できるようにしています。	支援者の主観でなく、客観的な記録を記載できるようにして、記録の質を向上させていきたい。
	23	23. 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	2～3ヶ月に一度の頻度でモニタリングを実施しています。支援計画の調整が必要であると判断した場合は、保護者との合意に基づき、現在の状況に合わせた支援計画に変更しています。	
	24	24. 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	机上での学習に加えて、生活に役立つスキルのトレーニングを体験的にしています。また、運動のトレーニングや創作活動にも定期的に取り入れています。	地域との交流の機会も増やせると良い。
	25	25. こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	トレーニング内容は決まっていますが、余暇時間の過ごし方やプリントに記載する内容など、「何をしたか」「どうしたいか」をこどもが自分で考え、選択できる機会を作るようにしています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	26	26. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	サービス担当者会議には、主に児童発達支援管理責任者(児発管)が参加しています。会議の開催にあたっては、児発管が参加しやすいように、時間や場所について配慮頂いています。	
	27	27. 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	0.0%	0.0%		保健、医療機関と連携して支援を行うことに課題があります。
	28	28. 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	送迎サービスは行っていますが、3～4ヶ月に一度のペースで学校を訪問しています。訪問時に、ご利用いただいている児童の事業所での様子をまとめた「振り返りの書類」を、保護者の方に同意をいただいた上でお渡しすることで、情報を共有しています。	
	29	29. 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	66.7%	33.3%	0.0%	必要に応じて児童発達支援事業所とサービス担当者会議を行っています。また、会議の実施が難しい場合でも、受け継ぎシートなどを活用して、支援に必要な情報を共有しています。	
	30	30. 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	33.3%	66.7%	0.0%	当事業所では、ご利用者様の学校卒業に伴う放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所への移行において、支援内容等の情報提供の必要性を慎重に検討しています。その結果、特段の情報提供は行わず、ご利用者様やご家族様の意思を尊重した対応を基本としています。	ご家族から情報提供の希望がある場合は、これまでの支援内容等の情報提供を必要に応じて実施していきたい。
	31	31. 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	33.3%	33.3%	33.3%	地域の発達支援センターに代わり、ハッピーテラス本部の職員から専門的なアドバイスを受ける機会を設けています。	連携を進めるための時間や人員の確保が困難でした。
	32	32. 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	66.7%	33.3%	0.0%	直接的な交流はありませんが、定期的な外出活動の機会を設けています。例えば、近隣の公園への散歩や、こども館、市内の施設見学などです。これらの活動を通して、地域の人たちと接するなどの関わりができています。	プライバシーの保護を理由に十分な実施ができていません。
	33	33. (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0.0%	100.0%	0.0%	オンラインを活用して、エリア内の協議会に参加しました。	
	34	34. 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	お迎えに来る保護者とは情報共有を努め、子どもの様子について保護者に伝えることで、概ね認識を合わせることができています。また、自力通所の児童の保護者とも気になることがあれば、メールや電話でその日の様子をお伝えするようにしています。	
	35	35. 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	ハッピーテラスの本部や浜松市が主催するオンライン勉強会の情報提供を行っています。	ペアレントトレーニングのスキル向上に努めていきたいです。
	36	36. 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	66.7%	33.3%	0.0%	契約時の説明や利用者負担額に変更があった際に、説明を行っています。	
	37	37. 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	0.0%		子どもの意見を尊重しつつ、具体的に計画へ反映させることが今後の課題です。
	38	38. 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	0.0%	お子様の現状と支援の目標、具体的な支援内容について、丁寧に説明するよう心がけています。説明後、計画書に捺印していただいた上で、支援計画への署名をお願いしています。	

放課後等ディサービス 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス浜松教室

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	39	39.家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	面談では、保護者の考えを否定しないで、共感的な態度で傾聴することで、ご家族の心理的な負担が軽減できるようにしています。	
	40	40.父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0.0%	66.7%	33.3%		保護者会の開催やきょうだい間の交流機会の提供については、十分な対応ができておりません。
	41	41.こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	苦情対応の窓口となる担当者を明確に定め、保護者に対しては契約時に周知し、教室内にも窓口を掲示しています。	苦情発生時には、誠実に対応していますが、記録の整備や非常勤職員への共有に課題があります。
	42	42.定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	2ヶ月に1回「ハッピーテラス通信」を発行し、お子さまが事業所で生き活きと活動している姿をお伝えしています。	HPやSNSの活用が十分にできていないことが課題です。
	43	43.個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	配布物やメールの誤送信防止のため、複数人での確認体制をとっています。	
	44	44.障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	こどもの発達年齢や特性に合わせて、トレーニングのレベルやプリントの内容を調整しています。また、メールでのやりとりが難しい保護者様に対しては、電話で必要な情報を伝えています。	
	45	45.事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	33.3%	33.3%	33.3%		プライバシーの保護を優先しているため、地域住民を対象とした行事への招待は現在実施していません。
非常時等の対応	46	46.事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		事故防止や緊急時対応など、各種マニュアルの整備は行っているが、家族への周知については、改善の余地があります。
	47	47.業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	児童の緊急時の適切な行動習得を目的に、4月、9月、11月の年に3回、避難訓練を実施しています。多くの児童に参加頂けるように、4月と9月には避難訓練通関として、6日間かけて訓練を実施するようにしています。	大雨発生時の避難訓練の実施に課題を抱えています。また、月4回未満の利用児童が必要な訓練に参加できない場合があります。
	48	48.事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	服薬の情報やてんかん発作に関する情報を契約時の面談の際に確認しています。また、毎年度、服薬や通院(主治医)の情報について書面にて各家庭に確認をしています。	
	49	49.食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	66.7%	33.3%	0.0%	お子様のアレルギー情報は、毎年度、書面にてご提出をお願いしています。また、調理や飲食を伴う外出活動の際にも、その都度改めてアレルギーの有無を確認しています。	
	50	50.安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	安全計画の策定や研修、訓練を実施している。	研修や訓練の実施方法に改善の余地があります。
	51	51.こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	トレーニングで実施した安全計画の取り組みは、対面または書面で共有しています。	情報の周知が不十分な所があります。
	52	52.ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	大きな事故に繋がらないように些細な出来事であっても職員間で共有し、記録に残るようにしています。	記録の内容や質も向上させていきたいと思っています。
	53	53.虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	放課後連やハッピーテラス本部が主催する虐待に関する研修に毎年参加し、参加できなかった職員にも内容を報告しています。	
	54	54.どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか。	66.7%	0.0%	33.3%	身体拘束を行う必要がある場合やその方法について、委員会で話し合った内容を個別支援計画に記載している。	

※この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。